

熊本県天草市御所浦町に分布する上部白亜系姫浦層群から発見されたイクチオデクテス目魚類 *Amakusaichthys goshouraensis* アマクサゴシヨウラムカシウオ (新称)

廣瀬浩司*・簗本美孝**・パウロ M. ブリトー***

*天草市立御所浦白亜紀資料館・**北九州市立自然史・歴史博物館・***リオデジャネイロ州立大学

An ichthyodectiform fish, *Amakusaichthys goshouraensis* (new Japanese name: Amakusagoshouramukashiuo) from the upper Cretaceous Himenoura Group in Goshoura, Amakusa, Kumamoto, Japan.

Koji Hirose*, Yoshitaka Yabumoto** and Paulo M. Brito***

*Goshoura Cretaceous Museum, 4310-5 Goshoura, Goshoura, Amakusa, Kumamoto, 866-0313, Japan; **Kitakyusyu Museum of Natural History and Human History, 2-4-1, Higashida, Yahatahigashiku, Kitakyushu, Fukuoka, 805-0071, Japan; ***Departamento de Zoologia, Instituto de Biologia, Universidade do Estado do Rio de Janeiro, Rio de Janeiro, Brazil

Key words: *Amakusaichthys goshouraensis*, Himenoura Group, upper Cretaceous, Kumamoto

2012年3月に、天草市御所浦町前島(図1)の架橋工事現場において姫浦層群樋の島層(上部白亜系サントニアン階)のシルト岩から魚類化石が発見され(図2)、御所浦白亜紀資料館で発掘調査を行った。周辺の黒色泥岩からは化石が多産し、アンモナイト類の報告がある(前田, 1997)。

その後、御所浦白亜紀資料館、北九州市立自然史・歴史博物館、リオデジャネイロ州立大学との共同で研究を進めた結果、これまで知られているイクチオデクテス目と大きく異なり、吻部が長い、口が小さい、歯が小さいといった特徴などが認められ、昨年 *Amakusaichthys goshouraensis* (図3, 4) という学名が与えられ、新属新種として発表された(Yabumoto *et al.*, 2018)。なお、ここで本種の標準和名として「アマクサゴシヨウラムカシウオ」を提唱する。

イクチオデクテス目はジュラ紀から白亜紀末にかけて繁栄した魚類で世界各地から報告されているが、本種はメキシコや中東から発見されている *Heckelichthys* 属にもっとも近縁と考えられており、海生のイクチオデクテス目魚類としてはアジアで初めての報告となる。また、複数の個体が1箇所から折り重なるように産出し、本種が群れを成していた可能性を示している。

謝辞

富山和人氏並びに脇永吉規氏には産出についての情報提供、脇島義純氏には発掘調査時の調整をしていただいた。天草市ジオパーク推進室の鶴飼宏明氏及び地元の方々には発掘調査に協力いただいた。フランツ・タツライア氏及び御所浦白亜紀資料館の黒須弘美氏には化石のプレパレーションをお手伝いいただいた。復元図につ

いては、山本匠氏に制作いただいた。これらの方々に心から御礼申し上げる。

文献

- 前田晴良, 1997. 御所浦のアンモナイト化石について. 嶋村清編「御所浦の地質」, 81-84, 御所浦町全島博物館構想推進協議会.
Yabumoto, Y., Hirose, K. and Brito, P. M., 2018. A new ichthyodectiform fish, *Amakusaichthys goshouraensis* gen. et sp. nov. from the Upper Cretaceous (Santonian) Himenoura Group in Goshoura, Amakusa, Kumamoto, Japan. *Historical Biology*, DOI:10.1080/08912963.2018.1497022.
廣瀬浩司は発掘野外調査、産地・産状についての記載、簗本美孝及びパウロ M. ブリトーは化石の記載を担当した。

(2018年11月1日受付, 2018年12月24日受理)



図1. *Amakusaichthys goshouraensis* アマクサゴシヨウラムカシウオ (新称) が発見された御所浦町前島。様々な化石や地質現象が観察できることから天草ジオパークのジオサイトに指定されている。



図2. 発見時の *Amakusaichthys goshouraensis* アマクサゴシヨウラムカシウオ（新称）の産状。工事により出現した露頭中に胴体部や尾鰭部などが確認できた。



図3. 御所浦白亜紀資料館における *Amakusaichthys goshouraensis* アマクサゴシヨウラムカシウオ（新称）の展示。部分化石や反転した化石の写真を組み合わせて全体がイメージできるようにしている。頭部がholotype (GCM-VP453), 胴体後半部がparatype (GCM-VP454), 尾鰭部がparatype (GCM-VP455)。GCMはGoshoura Cretaceous Museumの略号。

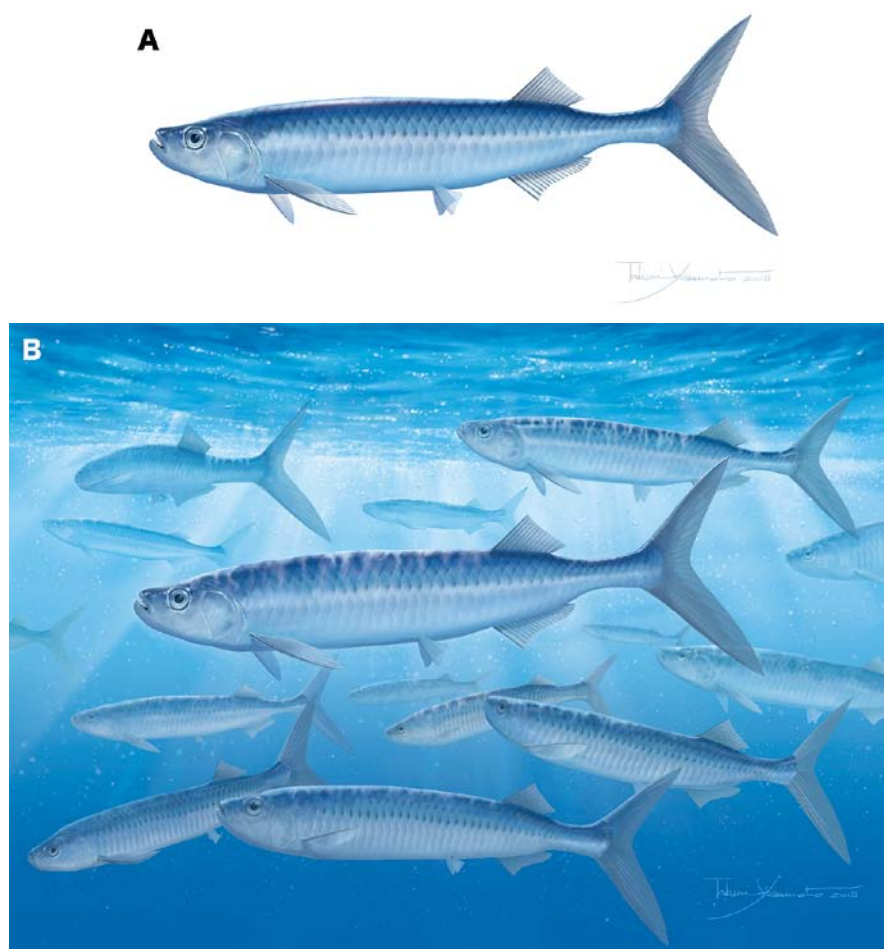


図4. *Amakusaichthys goshouraensis* アマクサゴシヨウラムカシウオ（新称）の復元図（制作は山本匠氏，監修は簀本美孝）。A，左側面図；B，化石の産状から群れを成したイメージ。